

2022年度 工学院大学学生自治会常任委員会

工学院大学学生自治会常任委員会

委員長 新野泰生



1. 存在意義

本会は自治委員会の執行機関として、自治委員会からの議決事項の報告をもとに、活動を行うことが存在意義である。また、それに伴い学生の「学園生活の充実と向上」及び「学生団体の統括と補助」も本会の存在意義である。

2. 組織形態

本会は本部を新宿キャンパス、支部を八王子キャンパスに設置する。本部は3年生、支部は1、2年生が運営を行う。本部・支部どちらも会計局、企画局、渉外局、渉内局、サークル局、SHAiR 局の計6局から構成する。その他に、本会の下部組織として「公認サークル会」を設置し、公認・準公認サークルの統括及び支援を行う。

3. 活動方針

a) 学生を活動に引き込む

本会は学生への還元を行うために、「学園生活の充実と向上」を存在意義に掲げ活動を行っている。昨年度もこの方針のもとに活動を行ったが、より多くの学生に還元をするため今年度も継続する。具体的な方法としては学生の利用率が高い SNS の利用、掲示板、卓上 POP、学生団体ポータルサイト SHAiR の活用方法の見直しを行い、活動の情報を効果的に伝えたとともに参加しやすい環境づくりに努めていく。

b) 情報共有の活性化

本会は、「学生団体の統括と補助」を存在意義に掲げ活動を行っている。学生団体の統括、適切な補助を行うためには情報共有が必須である。「学園生活の充実と向上」を達成するためには学生からの意見を集めること、学生へ情報を届ける必要がある。これらを徹底するため情報共有を意識し活動していく。

c) 環境や時代に合った活動の見直し・改善

学生のニーズは時代や環境によって変化していく。本会では例年続いた活動に需要があるのか検証を継続的に行うことで時代の流れを把握していく。これによりそれぞれの時代に合わせた還元力のある活動ができるよう努める。また、新型コロナウイルス感染症の影響による環境の変化でこれまで行っていた企画が実施できない可能性がある。そのため今年度は時代や環境の流れを把握し、それらを活動に反映させられるように努めていく。

4. 活動計画

a) 学生総会

工学院大学学生自治会会則、第 6,7,8,11 条に示す通り学生総会(以下、総会と称する)を最高決議機関とし、年に一度、新宿・八王子キャンパスにて定例総会を開催する。今年度はコロナ禍であったため、Zoom を使用したオンラインによる学生総会を開催した。総会の議事内容は、「予算の決定」、「決算の承認」、「会則の改定」である。他にも一般学生に対して学生自治に対する要望を聞く「ご意見募集」を Google form を使用して行った。

b) エヴォリューションプロジェクト

本活動はエコ推進委員会、学生支援課と連携して行った。本学を魅力的な大学にするため全学生が力を合わせ、自らの考えで企画を創造することで学生生活全般の活性化を図るプロジェクトである。この目的のもと、八王子支部では一般学生と共に学内の清掃を行うクリーンアップキャンペーンを行った。

新宿本部では新宿キャンパスの施設利用、感染症対策に関する掲示を継続して行い、学生のマナーアップや施設利用マナー改善運動を行った。

c) サークルの支援

本会は下部組織として公認サークル会を設置し、サークルの統括、支援を行っている。そのためサークル活動の活性化、発展を図ることは本会の担うべき役割である。今年度のサークル活動の発展を目指し活動した。公認サークル特典として、学園祭における模擬店出店にかかる費用の一部負担、サークル用ロッカーの貸与などを設けることで公認サークルの活動の幅への広がりをもたせサークル活動を活性化させた。準公認サークルにおいても、公認サークル特典を享受するため公認サークルへの昇格を目指すことで活動の活性化が見込まれた。成果としてサークルの新設 10 団体、公認サークルへの昇格 1 団体であった。

d) 社会貢献活動の促進

学生への社会知識の提供を目的として、社会に出ても有用である情報を提供できる活動を行った。社会貢献活動の中でも身近な存在である献血活動、募金活動を行った。身近な活動であり興味・関心が高く、大学内で参加した学生が大学外でも自ら参加することができる機会を提供した。

e) 学生団体ポータルサイト SHAIR の運用

学生団体ポータルサイト SHAiR では、各学生団体の紹介や行事の告知をしている。また、学生団体の提出書類のダウンロードを行うことができる。多くの学生に利用してもらうためにも学生が求める情報を提供した。多くの学生にとって見やすいサイトを目指し、見直し・改善を行った。学生団体の情報は毎年更新されていくため、変化に対応した迅速な情報発信を行った。

f) 学園祭への参加

本会はプレ八王子祭・八王子祭、新宿祭に参加した。プレ八王子祭・八王子祭においてはステージ企画・模擬店で参加し、新宿祭においては扶翼した。近年、天候の悪化や新型コロナウイルス感染症により対面で学園祭を実施することができておらず、一般学生や学生団体の学園祭への参加が減ると考えられた。そのため、学生団体にステージ企画・模擬店の魅力を知ってもらい、来年度以降の参加団体数を増加させることを目指した。学園祭が盛り上がることで、一般学生に学園祭を楽しんでもらい「学園生活の充実と向上」を満たすことを目的とした。プレ八王子祭や八王子祭、新宿祭を盛り上げることは、歩け歩け大会や八王子祭への盛り上げ、工学院大学の広報に貢献することができる。そのため本会では学園祭に積極的に関わった。